

# のぼこども つうしん 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会  
のぼこども家庭支援センター  
横浜市港南区野庭町631  
発行責任者：高橋 智一

平成29年4月 第11号

のぼこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

4月、入園・入学、進級と新しい出会いに少しの不安と大きな希望をもって、桜の花に出迎えられて胸を張って登園・登校する子ども達の姿、思わず笑顔になる光景です。保護者の方のみならず、大人たち皆が全ての子ども達が健やかに育って欲しいと微笑みをもって改めて感じる季節と思います。

他市ではありますが、学校の先生の5割が子どもが貧困状態にあると感じた事がある、しかし学校のみで解決できた割合は限られているとの調査結果が報告されていました。子どもの貧困は単に経済的な面だけでなく経験の機会等も奪ってしまうと言われています。

のぼこども家庭支援センターは開所4年目となりました。今後とも関係機関の皆様のご協力のもと、子ども達がより良い日々を過ごせるように、地域の身近な相談窓口として職員一同取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

のぼこども家庭支援センター長



## 講演報告 「こころの病を抱える家庭の理解と支援」

講師： NPO法人 ぶるすあるは 細尾ちあき氏



2月7日、当センター地域交流室にて、NPO法人「ぶるすあるは」の細尾ちあき氏を講師としてお迎えし、地域で子どもたちに携わっている民生・児童委員や学校・保育園の関係者等を対象に講演会を行いました。

親が精神疾患を持っている子どもの気持ちを、先生の幼少期の経験も交えてお話しして下さった上で、子どもへの関わり方、精神疾患を抱えている親への関わり方のヒントなどについてお話を頂きました。子どもは家庭が困った状態に陥っても他人に“相談しよう”という考えが浮かばないとのこと。『困ったことがあれば誰かに話しても良い』ということ子ども達に伝えていく為にも、大人自身も“困った時は相談する、他人の力を借りる”ことが大切とのことでした。他にも支援者として心がける点のアドバイスについても多くお話し頂きました。細尾先生の柔らかいお人柄と、温かみのあるイラストが印象的な講演会でした。

ぶるすあるはさんは、ウェブで精神疾患を抱える親御さんとそのお子さんの支援の為の情報、またダウンロードして実際に使用できる素材などを掲載されています。是非ご覧ください。

<http://kidsinfost.net/>

<子ども情報ステーション>



## のぼこども地域交流事業

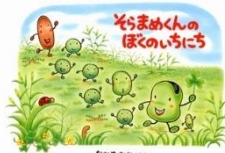


当日はお天気に恵まれましたが、それでも寒い、冬真っ只中にも関わらず、子ども17人、保護者が15人の13組の参加がありました！子ども達は元気いっぱい!! おもちゃの取り合いも少々ありましたが、相変わらずプラレールは人気No. 1☺以前に比べて指先が器用になっている子、プラレールの連結を外せるようになった子もいて、とても成長を感じられる時間となりました。また次回の参加をお待ちしています。



今年は2017年と言う事で、標高2017mの雲取山に行ってきました。まだ雪も有り空気も澄んでいたので景色もすごく綺麗でした。しかし、少し暖かくなったからなのか活動を始めた小熊を目撃!!一瞬かたまってしまいましたが無事に登頂し下山できました。3月の山はたんぼぼや梅がとても綺麗。これからは桜の季節で新たな出発シーズンです。今年度も綺麗な景色を見ながら楽しく過ごしたいと思います。

## 心あたたまる絵本の紹介



そらまめくんのぼくのいちにち  
作・絵/なかや みわ  
小学館 2006年7月

ある春の日、たんぼぼのわたげを見つけたそらまめくんは、わたげのベッドを作ります。素敵なベッドを見せようとお友達を呼びに出かけますが、途中で雨が降ってきて…? 大人気のそらまめくんシリーズ。可愛らしいキャラクターとお話に癒されます。

のぼこども家庭支援センター  
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆  
月曜日から土曜日まで(祝日、年末年始除く)  
受付時間：9時～17時

